

2026 年 10 月 20 日

ミルボン研究員による 2 件の研究発表が IFSCC Congress 2026 ポスター発表部門 TOP 10 に選出 ～頭皮常在菌研究と毛髪集合体研究が国際的に高評価～

美容室向けヘアケア・化粧品メーカーの株式会社ミルボン（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：坂下秀憲、以下ミルボン）は、2026 年 9 月 28 日から 10 月 1 日にオーストラリア・パースで開催された「The 36th IFSCC Congress 2026 Australia Perth」において、当社研究員による 2 件の研究発表が、いずれもポスター発表部門の TOP 10 に選出されました。

IFSCC（国際化粧品技術者会連盟）は、世界各国の化粧品技術者・研究者が参加する国際的な組織です。同連盟が主催する IFSCC Congress では、事前審査を経て採択された化粧品科学に関する研究成果が発表されます。

【外部発表】

発表学会：The 36th IFSCC Congress 2026 Australia Perth

① **頭皮常在菌に関する研究** 発表者：中瀬 恵亮 [ミルボン 経営戦略本部]

発表タイトル：A New Microbial Anti-Aging Factor:

Discovery of a Novel Class of Hydrogen-Producing Bacteria on the Human Scalp

② **毛髪集合体に関する研究** 発表者：武田 基希 [大阪大学大学院 基礎工学研究科、ミルボン 開発本部]

発表タイトル：Universal Fractal Principle Underlying Hair Architecture:

Toward a New Hair Design Paradigm

【研究の概要】

① **頭皮常在菌から抗老化作用が期待される水素産生菌を発見**

頭皮に存在する常在菌の中から、水素を産生する菌を探索し、その特性や頭皮状態との関係を解析しました。その結果、水素産生菌の一つである *Rothia* 属の存在割合が、加齢に伴って変化することが知られている頭皮の赤みや黄み、弾力などに関連することを見出し、頭皮常在菌がもつ新たな有用性が示唆されました。

② **髪質の違いを超えて共通する「毛髪の集まり方」の数理的規則を発見**

ストレート、ウェーブ、カーリー、コイリー（強い縮毛）など、さまざまな髪質の頭髪画像を解析し、見た目の異なる髪にも、毛髪の集まり方に共通する数理的規則が存在することを見出しました。さらに、この規則をもとに、これまで感性的に捉えられることの多かった頭髪全体の特徴を科学的に捉える新たな指標を構築しました。

【今後の展望】

ミルボンでは、毛髪や頭皮を取り巻くさまざまな現象に着目し、美容を科学的に理解するための研究を進めています。今後も新たな知見を創出し、美容師とともにお客さま一人ひとりの理想の美しさの実現に貢献してまいります。

■リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ミルボン

広報室 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン

TEL 03-3517-3915 FAX 03-3273-3211

株式会社ミルボン／本社：東京都中央区、社長：坂下秀憲、証券コード：4919（東証プライム）